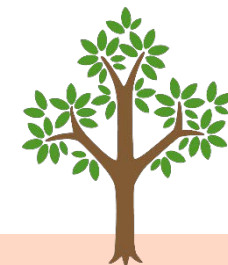




厚生労働省

令和3年度仕事と介護の両立支援カリキュラム 策定展開事業

1. 全体概要	1
2. 各事業の概要	2
3. 講師派遣実施地域	3
4. 受講者・主催者の声	4
5. 「ケアマネジャー研修 仕事と介護の両立支援カリキュラム」より 参考資料 ～お役立ちツール、参考文献の紹介～	5
6. 育児・介護休業法における両立支援制度についての厚生労働省ホームページの特設サイト	7



1. 厚生労働省「令和3年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」: 全体概要

事業目的

- 就労している家族介護者の介護離職を防止するためには、介護保険サービスと育児・介護休業法に基づく介護休業制度等を上手く組み合わせ、家族介護者の勤務実態等も踏まえたケアプランを作成する必要がある。
- そこで、令和2年度に策定した「仕事と介護の両立に関する研修カリキュラム」を基に研修を実施することで、ケアマネジャーが仕事と介護の両立に関して学ぶ機会を設けるほか、将来的には全国の自治体等において当該カリキュラムを活用してケアマネジャー等へ研修を行えるようなモデル研修としての役割を果たすことを目的とした。

事業内容

- ①研修講師養成
 - 「モデル研修」および「講師派遣」において、カリキュラムの内容に基づきケアマネジャー向けの研修を実施することができる講師を養成。
- ②モデル研修の実施
 - ケアマネジャー等が、就労している家族介護者の仕事と介護の両立支援に係る基礎知識の習得、および今後自治体等が同研修を行うにあたり参考にできるモデル研修を実施。
- ③講師派遣
 - 講師派遣を通じて、自治体等において本研修カリキュラムを活用した研修実施を支援。

ケアマネジャー研修 仕事と介護の両立支援カリキュラム ～カリキュラムの解説、研修教材、研修運営マニュアル

全体構成

第Ⅰ部 仕事と介護の両立支援カリキュラムについて

- 本研修の趣旨や対象者、研修やカリキュラムの全体構成、カリキュラムの活用方法などについて解説。

第Ⅱ部 仕事と介護の両立支援カリキュラム

- ステップ1 家族が就労している場合の支援の視点
- ステップ2 両立支援制度の活用も踏まえたケアマネジメントの方法
- ステップ3 家族介護者の仕事との両立を踏まえたケアマネジメントの事例検討
- ステップ4 研修の振り返り

- 各ステップについて、研修内容や狙い、実施方法について解説。

第Ⅲ部 仕事と介護の両立支援カリキュラム 研修運営マニュアル

- 研修の運営に関して、企画から準備、実施までの手順や方法を紹介。
- 特にオンライン研修で行う場合の方法を具体的に解説。

付属資料 仕事と介護の両立支援カリキュラム 研修用資料例

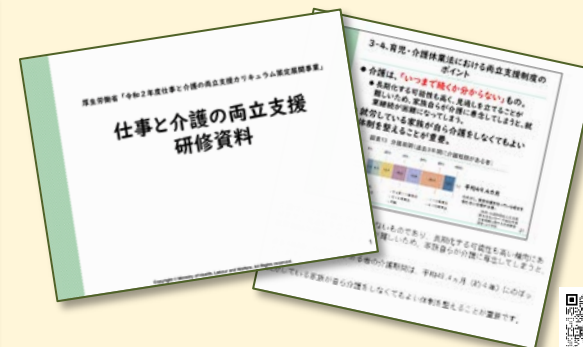
- 第Ⅱ部の内容を踏まえた研修の資料例。

参考資料 ～お役立ちツール、参考文献の紹介～

- 家族介護者支援に役立つパンフレット・マニュアル・チェックリスト、参考情報を紹介。

◆ 本研修カリキュラムの特徴 ◆

- 講義のほか、ロールプレイングによる事例検討を実施。具体的な実施方法やロールプレイングに活用可能な5つの事例を紹介。
- 1日研修、半日研修の2パターンの時間配分を紹介。
- カリキュラムの解説のほか、運営マニュアルも掲載。
- 本研修カリキュラムに沿った研修会用のパワーポイント資料例を用意(講師用説明メモつき)。Webからダウンロード可能。
研修の目的や実施方法等に応じて、研修の実施主体にてアレンジ可能。



◆ 厚生労働省HPに掲載 ◆

2. 厚生労働省「令和3年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」: 各事業の概要

①研修講師養成

- ②モデル研修、③講師派遣の講師やファシリテーターを対象とした研修
- 研修プログラム:
 - カリキュラムを活用した研修の目的、内容、実施方法等についての説明
 - 両立支援制度の趣旨・利用にあたっての考え方や、就労している家族の事例を具体的に学ぶことができる点など、カリキュラムの特徴を解説
 - 講義の練習として、研修で使用する資料について受講者に説明を行ってもらうことを通じ、実際に講義する際のイメージや、講義する際の留意事項等を確認
 - ステップ3のグループワークを実施し、研修の受講者の立場を体験する機会も提供

②モデル研修の実施

- 開催回数: 2回(10月20日、11月19日)
- 受講者数: 10月20日: 受講者108名 傍聴者31名
11月19日: 受講者 93名 傍聴者30名
- 開催方法: オンラインによる開催
- 研修対象: ケアマネジメント業務、相談業務等に携わるケアマネジャー。研修実施主体となり得る自治体の担当部局職員や研修実施機関の職員等の傍聴も可能。
- 研修プログラム内容:
「令和2年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」にて策定した1日研修プログラムを実施

③講師派遣

- 講師派遣方法: 自治体等より依頼を受け、研修講師を派遣。「令和2年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」にて作成したカリキュラム及び研修資料を基に研修を実施。
- 対象先: 都道府県、市区町村、地域包括支援センター、介護者支援に関わる団体
- 実施数: 19団体(申込先着順)
- 実施方法:
 - カリキュラム全体を活用した1日研修のほか、一部のみの半日研修など、主催者の意向を踏まえながら研修ごとに設定。
 - 自治体等が実施する研修の1コマでカリキュラムを活用し、本研修と合わせて実施することも可能とした。
 - 集合形式、オンライン形式いずれも対象。

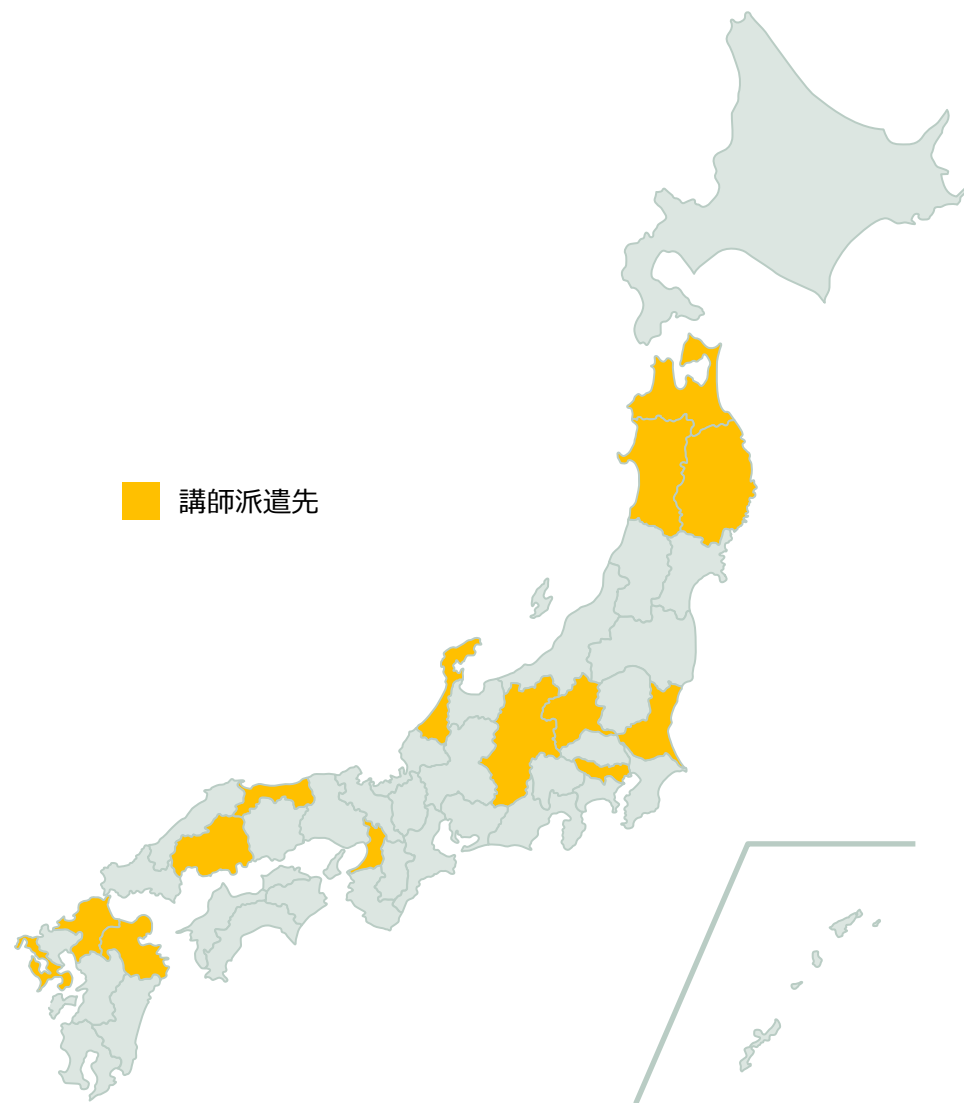
- 開催形態と研修内容は下表のとおり。
- 「オンライン形式と集合形式の併用型」は、「講師のみオンラインで講義」「サテライト会場を設けたオンライン開催」など。

開催形態	研修内容 ・ステップ1・2: 座学 ・ステップ3: グループワーク ・ステップ4: 研修の振り返り	件数
オンライン形式	ステップ1~4	6か所
オンライン形式	ステップ1、3~4	1か所
オンライン形式	ステップ1~2	5か所
オンライン形式と集合形式の併用型	ステップ1~2	5か所
集合形式	ステップ1~4	1か所
集合形式	ステップ1~2	1か所

3. 厚生労働省「令和3年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」: 講師派遣実施地域

- 講師派遣研修の実施先（講師派遣先）は以下のとおりである。
講師派遣先は計14都道府県であった。（2022年3月31日時点） ※都道府県に重複あり

都道府県	講師派遣先	都道府県	講師派遣先
北海道		滋賀県	
青森県	○	京都府	
岩手県	○	大阪府	○
宮城県		兵庫県	
秋田県	○	奈良県	
山形県		和歌山県	
福島県		鳥取県	○
茨城県	○	島根県	
栃木県		岡山県	
群馬県	○	広島県	○
埼玉県		山口県	
千葉県		徳島県	
東京都	○	香川県	
神奈川県		愛媛県	
新潟県		高知県	
富山県		福岡県	○
石川県	○	佐賀県	
福井県		長崎県	○
山梨県		熊本県	
長野県	○	大分県	○
岐阜県		宮崎県	
静岡県		鹿児島県	
愛知県		沖縄県	
三重県		計	14



4. 厚生労働省「令和3年度仕事と介護の両立支援カリキュラム策定展開事業」: 受講者・主催者の声

モデル研修

介護者を支えることが利用者を支えることになることを再度考えた。

「制度や資源の効果的な組み合わせ」の具体例はよかった。

介護休業は「仕事と介護を両立させる体制を整えるための準備期間」であることも家族には伝えていきたい。

ロールプレイがわかりやすかった。問題点が把握しやすかった。

介護休業や介護休暇の取得の期間は介護にあたる時間だけではなく、今後の介護に対するプランニングを行うための貴重な時間ということがわかった。

制度があることはわかっていたレベルで、活用することを考えていなかった。制度のメリット、デメリットを調べようという気持ちになった。

オンラインだったことで、他県の方の地域の社会資源をリアルタイムで教えていただけた。就労している家族の支援というのは他県でも、問題があることがわかり、共有でき、有意義だった。

両立支援制度は一つの社会資源であること、使い方には要点があることなどが勉強になった。

グループワーク込みの研修で情報交換などできて良かった。家族支援に気をつけて支援をしているが、両立支援について提案をしたことが無かったので大変参考になり、今後に生かしていきたいと思った。

事例があり、それを検討することで気づき生まれた。制度は企業によって違うので、支援を必要とする人に間違った内容を伝えないように注意したいと思った。

講師派遣

受講者

両立支援制度は、介護のために休暇をとると理解していたので、準備期間という認識を得て目から鱗だった。

日頃の業務を振り返り、制度活用をどのタイミングで行うかグループワークで話し合いができ良かった。

両立支援制度の活用を踏まえたケアマネジメント方法について、家族の状況を把握すること、そのためにはまずは信頼関係を築かなければならないこと、サービスありきの支援だけではないことを改めて感じる研修だった。

家族の就業に関してのアセスメントは、しっかりできていない部分もあるので、見直しをしたい。

自分達が家族の介護をする時に、実際に介護休業を取得できるかなど、自分の職場のことも見直してみようと思った。

主催者

仕事と介護の両立支援の必要性について社会的背景から導入があり、利用者の望む生活を支援するためには、家族の就労も視野に入れてケアマネジメントをしていく必要性のあることを改めて学ぶ機会となった。

ケアマネジメント実践のなかで、家族介護者の仕事と介護の両立支援の視点と働きかけの重要性が認識できた。

ロールプレイによるグループワークで他の介護支援専門員との意見交換ができ、ケアマネジメントの振り返りを行うことで、より実践に近く学びが深まったと思う。

介護者の支援に介護支援専門員が関わることの心構えを示していただけてよかった。

今までにない視点での研修だったので、非常に参考になったという感想が多かった。

5. 「ケアマネジャー研修 仕事と介護の両立支援カリキュラム」より 参考資料 ～お役立ちツール、参考文献の紹介～

※詳細は以下の厚生労働省HPに公開されている本研修カリキュラムの冊子を参照してください
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/kaigo.html

1. 情報整理シート・チェックリスト

- 就労している家族からの相談を受ける際に活用できる情報整理シートや、就労している家族自身が利用するチェックリストなど、仕事と介護の両立を支援するためのさまざまなツールが開発されています。

(1) 情報整理シート【ケアマネジャー向け】

- 就労している家族の状況を整理するためのツールとして、以下のようなものがあります。
- ケアマネジャーの法律上の業務は、あくまでも利用者の支援です。就労している家族のことを把握するのは、利用者支援の一環であることを踏まえ、これらのツールは家族と信頼関係を構築したうえで活用するようにしましょう。

①全国介護者支援団体連合会「ケアラーアセスメントシート」	
出所	全国介護者支援団体連合会 (https://kaigosyasien.jimdofree.com/)
記入者	ケアマネジャー、アセスメント担当者
主な項目	身体の健康、こころの健康、家族の現状、介護の現状、住環境および地域資源、経済状況、就労状況、子育てとの両立、学業との両立、ケアラーの意向
特徴	● <u>家族介護者の状況を整理するうえで重要だと考えられる項目を集約したシート</u> です。日々介護者の支援を行っている団体間で情報を共有したうえで作成されました。

②厚生労働省「仕事と介護の両立計画シート」	
出所	厚生労働省「『介護支援プラン』策定マニュアル」 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html)
記入者	ケアマネジャー、就労している家族
主な項目	就労している家族、要介護者のそれぞれの週間スケジュール
特徴	● <u>就労している家族と要介護者のスケジュールを、就労している家族・ケアマネジャー・企業の人事労務担当者で共有するためのシート</u> です。家族と要介護者のスケジュールを見える化し、介護保険サービスや両立支援制度の利用方法や組み合わせ方を検討するうえで役立ちます。

(2) チェックリスト【就労している家族向け】

- 就労している家族が、ケアマネジャーに相談したり、利用者や自分自身のことを整理したりするためのツールとして、以下のようなものがあります。
- 介護に直面した家族が、何を相談すればよいのか困っていたり、何を知っておくと良いのか分からずにいたりする場合は、こうしたツールの存在をお伝えしてもよいでしょう。

①厚生労働省「ケアマネジャーに相談する際に確認しておくべきこと」	
出所	厚生労働省 仕事と介護の両立支援実践マニュアル (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html)
記入者	就労している家族
主な項目	介護が必要な人のこと(介護、生活のこと)、就労している家族自身のこと(介護、仕事や生活のこと)、勤務先の両立支援制度のこと
特徴	● 就労している家族が介護に直面した際に、 <u>ケアマネジャーに伝えるべき点、確認すべき点をまとめたシート</u> です。

②公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部 「介護家族よりケアマネジャーに伝えたいこと」	
出所	公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部 (http://hearttoheart.or.jp/?page_id=301)
記入者	就労している家族
主な項目	要介護者との人間関係、介護者自身の状態、負担を感じる点、希望する支援 等
特徴	● 介護者がケアマネジャーと面談する際に、 <u>自身の体調や気持ち、考え方を整理し、適切に伝えることを目的としたツール</u> です。介護者の生活全般について状況確認することができます。 ※ご利用の際には、「 <u>認知症の人と家族の会 愛知県支部</u> 」までご連絡をお願いします。

③厚生労働省「親が元気なうちから把握しておくべきこと」	
出所	厚生労働省 仕事と介護の両立支援実践マニュアル (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html)
記入者	就労している家族
主な項目	親の状況(老後の希望や生活環境等)、介護を行う側の状況(兄弟姉妹・配偶者等の状況)、親の住む地域の地域包括支援センターの情報、勤務先の両立支援制度のこと
特徴	● 就労している家族が介護に直面する前に、 <u>親のことや、地域の資源、勤務先の両立支援制度のことなど、把握しておく良い点をチェックするためのシート</u> です。親以外の家族の介護に対しても活用することができます。


5. 「ケアマネジャー研修 仕事と介護の両立支援カリキュラム」より 参考資料 ～お役立ちツール、参考文献の紹介～

※詳細は以下の厚生労働省HPに公開されている本研修カリキュラムの冊子を参照してください
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/kaigo.html

2. 家族介護者支援に役立つパンフレット・マニュアル


- 家族介護者支援にあたっての考え方や、企業の取組、労働者の両立事例などをまとめたパンフレットやマニュアルが公表されています。

(1) 仕事と介護 両立のポイント (厚生労働省) ●労働者の両立事例




- 仕事と介護の両立のポイントや、実際に仕事と介護を両立している方の事例がタイムスケジュール付きでまとめられています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/ryouritsu/model.html




(2) 仕事と介護の両立支援の一層の充実に向けて ～企業における「トモケア」のススメ～ (一般社団法人日本経済団体連合会) ●企業の取組事例




- 介護離職の現状や、仕事と介護の両立支援に関する企業の取組内容がまとめられています。資料編では、大手企業20社の取組事例や、企業を対象としたアンケートの調査結果が紹介されています。

<https://www.keidanren.or.jp/policy/2018/034.html>




(3) 仕事と介護の両立モデル事例集 (愛知県) ●企業の取組事例




- 仕事と介護の両立支援のポイントや、仕事と介護の両立支援に取り組んでいる愛知県の中堅・中小企業の事例を紹介しています。

<https://www.pref.aichi.jp/rodofukushi/kaigo-jirei.pdf>




(4) カイゴのギモン はじまるまえにできること (NPO 法人となりのかいご)

●家族介護者に向けた情報




- 介護のきっかけとなりやすい「認知症」「脳梗塞」「転倒骨折」それぞれについて、よくある誤解と正しい理解、専門家のコメントがポイントとしてまとめられています。

<https://www.tonarino-kaigo.org/wp/wp-content/uploads/2020/10/13e6dbcd5091b02ff90deddbd51891ea.pdf>




(5) 市町村、地域包括支援センターにおける家族介護者の就労継続支援に関わる取組ポイント

●市町村、地域包括支援センターの取組




- 市町村や地域包括支援センターが家族介護者の就労継続を支援するにあたって、庁内外の労働部門の連携方法がまとめられています。

https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2020/04/koukai_200424_4_2.pdf




(6) 市町村・地域包括支援センターによる家族介護者支援マニュアル ～介護者本人の人生の支援～

●市町村、地域包括支援センターの取組



- 家族介護者支援の考え方や、取組のポイントが掲載されています。アセスメントシートやチェックリスト、育児・介護休業法に関する相談先などの情報もまとめられています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/00085.html



6. 育児・介護休業法における両立支援制度についての 厚生労働省ホームページの特設サイト

育児・介護休業法における両立支援制度について、
詳しくは、厚生労働省ホームページの特設サイトもご覧ください。
お問い合わせやご相談は
都道府県労働局雇用環境・均等部(室)へ。



特設サイトはこちら

https://www.mhlw.go.jp/seisakunit suite/bunya/koyou_roudou/koyouki ntou/ryouritsu/kaigo/



リーフレットはこちら

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisak unitsuite/bunya/000103533_000 03.html

